

砂糖の国際需給

調査情報部 福寿 悠星

1 世界の砂糖需給（2024年12月時点予測）

図 絵で見る世界の地域別砂糖需給（2024/25年度予測値）

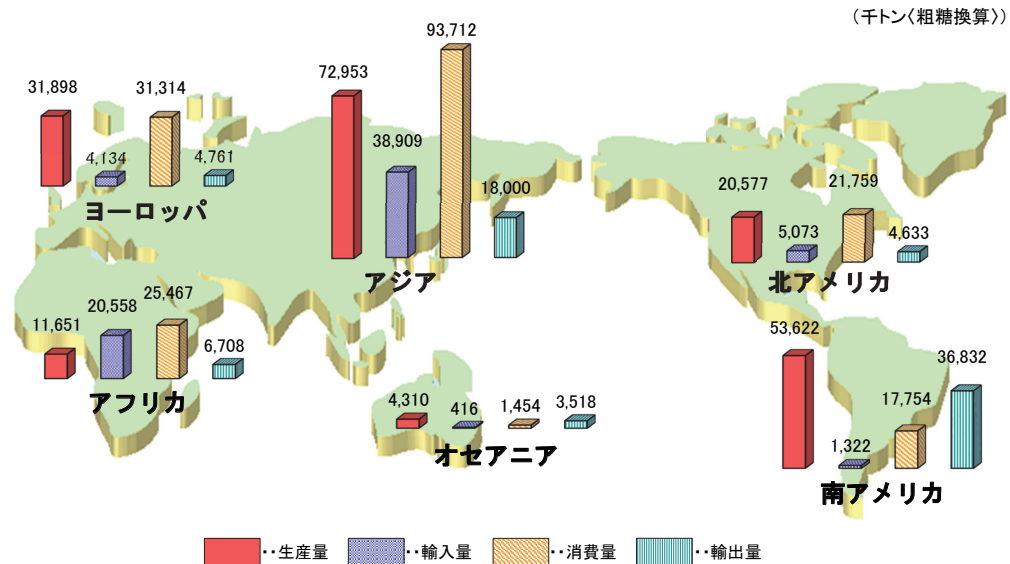


表 世界の砂糖需給の推移

（単位：千トン〈粗糖換算〉、％）

年度	期首在庫量	生産量	輸入量	消費量	輸出量	期末在庫量	期末在庫率
1994/95	47,925	116,773	31,660	112,814	32,499	51,044	45.2
1999/00	67,740	133,221	36,622	127,777	39,758	70,049	54.8
2004/05	70,829	144,294	47,173	146,617	50,894	64,785	44.2
2009/10	63,959	159,897	55,868	164,424	55,991	59,309	36.1
2014/15	75,474	183,661	60,890	177,018	62,427	80,582	45.5
2019/20	90,049	181,856	69,502	182,737	71,625	87,045	47.6
2020/21	87,045	181,996	66,802	185,213	68,005	82,626	44.6
2021/22	82,626	186,271	69,260	188,721	71,065	78,371	41.5
2022/23	78,371	190,577	70,802	190,828	71,328	77,593	40.7
2023/24	77,593	195,665	75,862	192,519	76,482	80,120	41.6
2024/25 (2024年12月予測)	80,120	195,011	70,413	191,461	74,452	79,631	41.6

資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, December 2024」

注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。

注2：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注3：期末在庫量は（期首在庫量＋生産量＋輸入量－消費量－輸出量）。

注4：期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

「世界の砂糖需給」および「主要国の砂糖需給」は四半期ごとの更新となっていますので、次回は2025年4月号の掲載となります。直近の内容は2025年1月号をご参照ください。

「世界の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003253.html

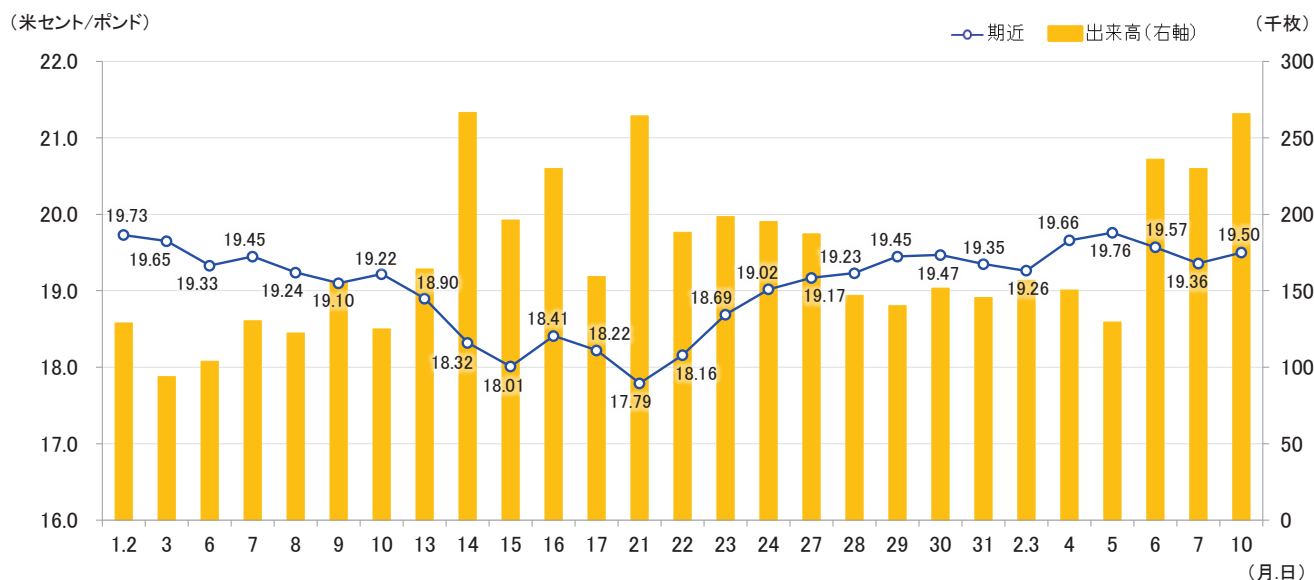
「主要国の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003254.html

2 国際価格の動向

ニューヨーク粗糖先物相場の動き（1/2～2/10）

～供給懸念の緩和とドル高により17セント台まで下落したものの、その後は19セント台まで回復～

図 ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所
注：期近3月限の値。

2025年1月のニューヨーク粗糖先物相場（3月^がぎり限）の推移を見ると、2日はインド砂糖・バイオエネルギー製造業者協会（ISMA）が24年10月から12月までの砂糖生産量を前年同期比減と発表したことで、1ポンド当たり19.73セント（注1）と前取引日から上昇した。3日以降は供給懸念の緩和とドル高（注2）により下落基調となり、15日には同18.01セントをつけた。16日はドル安により一時的に上昇したが、17日以降はインドの砂糖輸出規制の緩和などから下落し、21日には同17.79セントをつけた。22日以降はリアル高とタイ産砂糖の生産量減少見通しなどから上昇基調となり、30日には同19.47セントまで回復したものの、31日はドル高により同19.35セントと小幅な下落となった。

2月に入ると、3日はドル高で前取引日に続き小幅な下落となったが、4日以降は1月末までのインド産砂糖生産量が前年同期比減となったことで上昇し、5日には同19.76セントとなった。6日以降は世界的な需給見通しの改善から下落したものの、10日はリアル高により同19.50セントと上昇した。

（注1）1ポンドは約453.6グラム、1米セントは1米ドルの100分の1。

（注2）粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してリアルが下落すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が高まる。世界最大の砂糖輸出国ブラジルの輸出意欲が高まると、需給の緩和につながることから、価格を押し下げる方向に作用する。

3 世界の砂糖需給に影響する各国の動向（2025年2月時点予測）

ブラジル

2024/25年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：891万ha（前年度比6.0%増）
生産量：6億7551万トン（同5.3%減）

【砂糖（甘しゅ糖）】

生産量：4690万トン（同4.9%減）
輸出量：3653万トン（同3.0%減）

2024/25年度のサトウキビ生産量はやや減少見込み

2024/25年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、891万ヘクタール（前年度比6.0%増）とかなりの程度増加が見込まれている（表）。一方、サトウキビ生産量は、主産地である中南部地域の干ばつや火災の影響を受け、6億7551万トン（同5.3%減）とやや減少が見込まれている。現地報道によれば、中南部地域ではほぼすべての製糖工場で

24/25年度のサトウキビの压榨を終えている。

砂糖生産量は、干ばつや火災によるサトウキビの減産を背景に、4690万トン（同4.9%減）とやや減少が見込まれている。砂糖輸出量は、インド産砂糖の輸出量減少が見込まれる中、引き続き国際市場でのブラジル産砂糖に対する堅調な需要が期待されるものの、減産を背景に3653万トン（同3.0%減）とやや減少が見込まれている。

表 ブラジルの砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (1月予測)	2024/25 (2月予測)	前年度比 (増減率)	
サトウキビ収穫面積	8,672	8,421	8,408	8,870	8,910	6.0%	
サトウキビ生産量	576,707	606,676	713,134	679,562	675,510	▲ 5.3%	
砂糖	生産量	37,600	39,700	49,320	46,960	46,900	▲ 4.9%
	輸入量	5	2	5	4	4	▲ 29.8%
	消費量	10,949	10,928	10,965	10,800	10,800	▲ 1.5%
	輸出量	27,093	28,985	37,678	36,586	36,530	▲ 3.0%
	期末在庫量	2,156	1,945	2,627	2,204	2,201	▲ 16.2%
	期末在庫率	5.7	4.9	5.4	4.7	4.6	0.8ポイント減

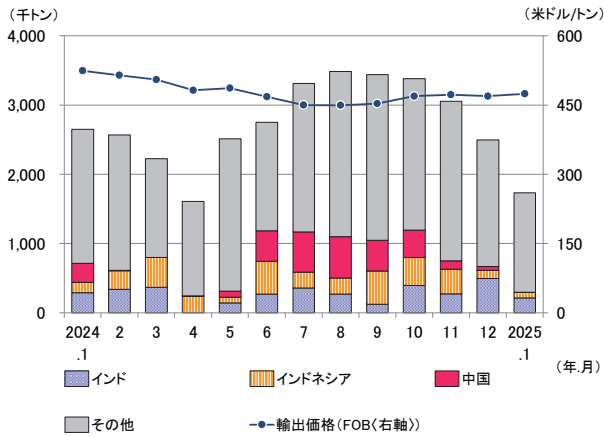
資料：GlobalData UK Ltd. [Monthly Sugar Information in Major Countries, February 2025]

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

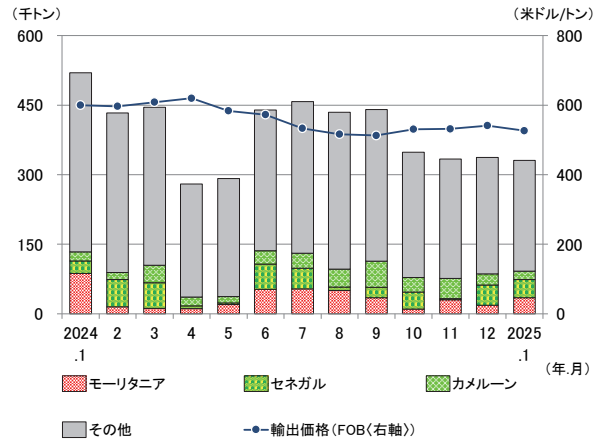
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) ブラジルの砂糖 (粗糖・精製糖別) の輸出量および輸出価格の推移

粗糖



精製糖



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

インド

2024/25年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：515万ha（前年度比7.1%減）

生産量：4億1270万トン（同7.2%減）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：2963万トン（同14.6%減）

輸出量：362万トン（同17.4%減）

2024/25年度の砂糖輸出量は大幅な減少見込み

2024/25年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、515万ヘクタール（前年度比7.1%減）とかなりの程度減少が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、干ばつと一部地域で発生した赤腐病（red rot）^{（注1）}の影響により、4億1270万トン（同7.2%減）とかなりの程度減少が見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビの収穫量減少とエタノールへの転用が進んだことから、2963万トン（同14.6%減）とかなり大きく減少が見込まれている。砂糖輸出量は、砂糖の減産や輸出制限の継続により、362万トン（同17.4%減）と大幅な減少が見込まれている。

インド政府は25年1月、国内の余剰在庫の解消などを目的に100万トンの砂糖輸出を許可した^{（注2）}ことで、輸出量は前月予測から上方修正された。しかし、一部報道によると、現在の輸出割当量の消化率は5割程度であり、国内の工場閉鎖や生産量減少が消化速度を鈍化させているとされている。

（注1）真菌の感染によって引き起こされる病気であり、茎の内部が腐り、赤色に変色する。サトウキビの単収や砂糖の回収率に深刻な影響を及ぼすとされている。

（注2）詳細については、2025年1月24日付け海外情報「インド政府が100万トンの砂糖輸出を許可（インド）」<https://www.alic.go.jp/chosa-c/jo/ho01_004013.html>をご参照ください。

表 インドの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

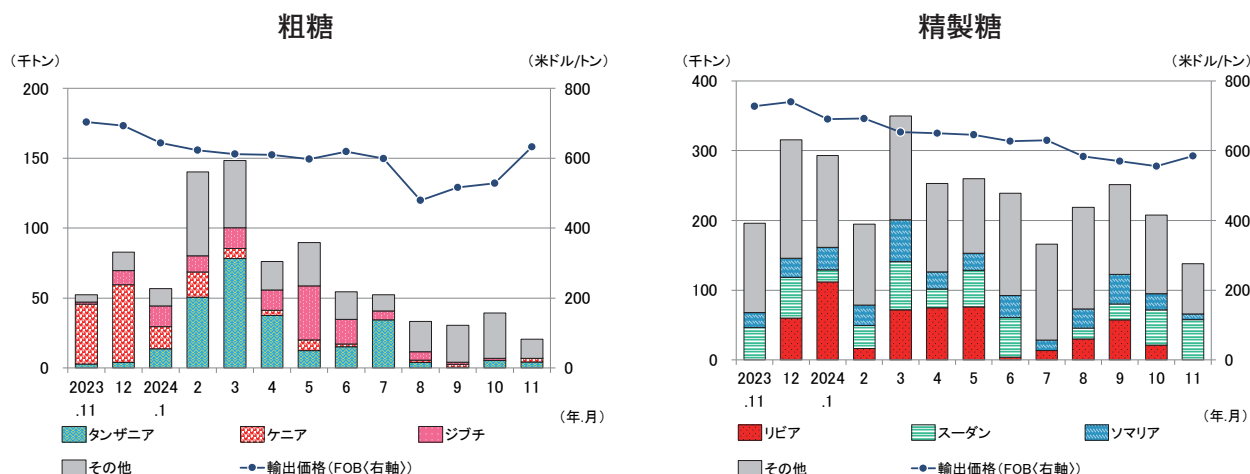
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (1月予測)	2024/25 (2月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	5,222	5,441	5,549	5,172	5,153	▲ 7.1%
サトウキビ生産量	481,599	455,898	444,740	412,870	412,703	▲ 7.2%
砂糖	生産量	38,559	35,389	34,677	30,234	▲ 14.6%
	輸入量	427	1,687	3,131	2,425	▲ 25.7%
	消費量	29,516	30,078	31,050	31,320	▲ 0.9%
	輸出量	12,468	8,646	4,378	2,958	▲ 17.4%
	期末在庫量	6,472	4,824	7,203	5,584	▲ 33.9%
	期末在庫率	15.4	12.5	20.3	16.3	6.5ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, February 2025」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) インドの砂糖(粗糖・精製糖別)の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14(粗糖)および1701.99(精製糖)の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月(累計)の上位3カ国・地域を表示。

中国

2024/25年度(10月～翌9月)の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：118万ha(前年度比7.3%増)

生産量：7553万トン(同3.3%増)

【てん菜】

収穫面積：22万ha(同29.3%増)

生産量：1178万トン(同25.7%増)

【砂糖(甘しや糖およびてん菜糖)】

生産量：1160万トン(同7.7%増)

輸入量：520万トン(同30.5%減)

2024/25年度の砂糖輸入量は大幅な減少見込み

2024/25年度(10月～翌9月)のサトウキビの収穫面積は、118万ヘクタール(前年度比7.3%増)とかなりの程度増加が見込まれている(表)。サト

ウキビ生産量は、主産地である広西チワン族自治区と雲南省の天候が比較的安定していたことなどから、7553万トン(同3.3%増)とやや増加が見込まれている。

てん菜の収穫面積は、生産者が需要や価格の優位

性から大豆やトウモロコシなどの競合作物から転換したことで、22万ヘクタール（同29.3%増）と大幅な増加が見込まれている。てん菜生産量は、収穫面積の増加と良好な生育状況により、1178万トン（同25.7%増）と大幅な増加が見込まれている。

砂糖生産量は、原料作物の増産を背景に1160万

トン（同7.7%増）とかなりの程度増加が見込まれている。砂糖輸入量は、引き続き国内の需給ギャップ是正のために一定の輸入量が予想されているものの、国内の生産見通しが改善していることから、520万トン（同30.5%減）と大幅な減少が見込まれている。

表 中国の砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

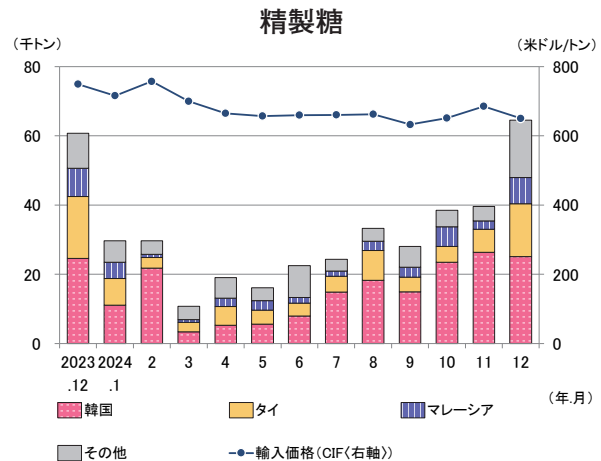
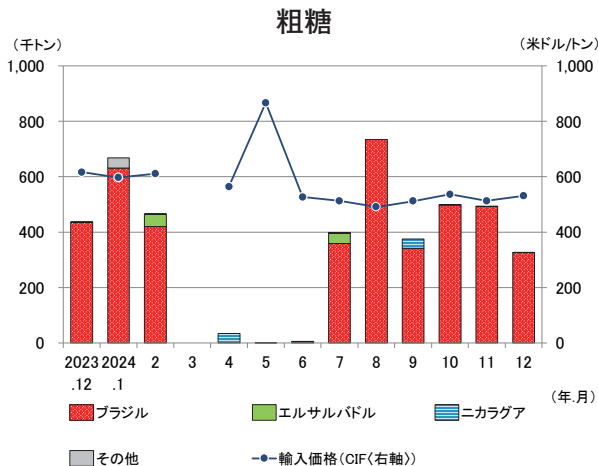
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (1月予測)	2024/25 (2月予測)	前年度比 (増減率)	
サトウキビ収穫面積	1,119	1,102	1,100	1,180	1,180	7.3%	
サトウキビ生産量	72,136	62,595	73,124	77,282	75,532	3.3%	
てん菜収穫面積	144	182	167	216	216	29.3%	
てん菜生産量	7,070	8,719	9,377	11,784	11,784	25.7%	
砂糖	生産量	10,334	9,698	10,769	11,837	11,599	7.7%
	輸入量	6,971	5,886	7,479	5,145	5,199	▲ 30.5%
	消費量	16,632	16,578	16,740	17,064	17,064	1.9%
	輸出量	172	201	179	166	164	▲ 8.2%
	期末在庫量	15,358	14,164	15,493	15,244	15,062	▲ 2.8%
	期末在庫率	91.4	84.4	91.6	88.5	87.4	4.1 ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, February 2025」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

（参考）中国の砂糖（粗糖・精製糖別）の輸入量および輸入価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸入量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

注3：2024年3月の粗糖輸入は、実績なし。

注4：2024年5月の粗糖輸入量は、千トン未満。

4 日本の主要輸入先の動向（2025年2月時点予測）

近年、日本の粗糖（甘しや糖・分みつ糖<HSコード1701.14-110>および甘しや糖・その他<同1701.14-200>の合計）の主要輸入先は、豪州およびタイである。2024年の主要輸入先の割合を見ると、豪州が90.2%（前年比1.4ポイント減）、タイが9.7%（同1.3ポイント増）と、両国でほぼ全量を占めている（財務省「貿易統計」）。

豪州

2024/25年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：35万ha（前年度比1.1%増）

生産量：2914万トン（同0.5%減）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：394万トン（同4.5%減）

輸出量：292万トン（同12.9%減）

2024/25年度の砂糖輸出量はかなり大きく減少見込み

2024/25年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、35万ヘクタール（前年度比1.1%増）とわずかな増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、頻発した豪雨と豪州最大の精糖企業で発生したストライキなどで収穫が遅れ、2914万トン（同0.5%減）とわずかな減少が見込まれている。現地報道によれば、一部の製糖工場を除いて24/25年

度の製糖を終えたとされている。

砂糖生産量は、収穫の遅れがサトウキビの品質と供給の双方に影響を及ぼしたことなどから、394万トン（同4.5%減）とやや減少が見込まれている。砂糖輸出量は、アジア地域向けを中心に引き続き多くの需要があるものの、砂糖の減産見込みにより、292万トン（同12.9%減）とかなり大きく減少が見込まれている。

表 豪州の砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (1月予測)	2024/25 (2月予測)	前年度比 (増減率)	
サトウキビ収穫面積	343	328	341	345	345	1.1%	
サトウキビ生産量	30,123	32,593	29,274	29,993	29,137	▲ 0.5%	
砂糖	生産量	4,108	4,298	4,128	3,973	▲ 4.5%	
	輸入量	9	8	10	9	▲ 8.0%	
	消費量	1,010	996	995	1,005	1.0%	
	輸出量	3,453	2,942	3,356	2,976	▲ 12.9%	
	期末在庫量	813	1,181	967	967	991	2.5%
	期末在庫率	18.2	30.0	22.2	24.3	25.2	3.0ポイント増

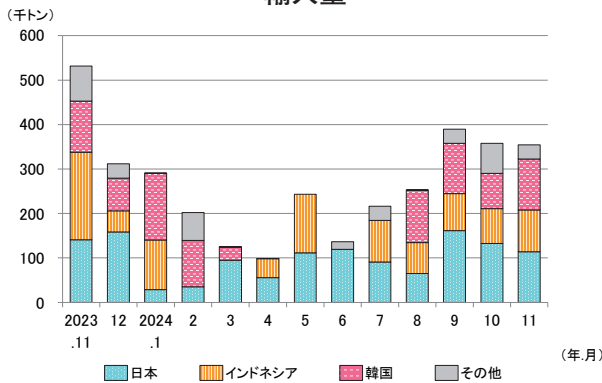
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, February 2025」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

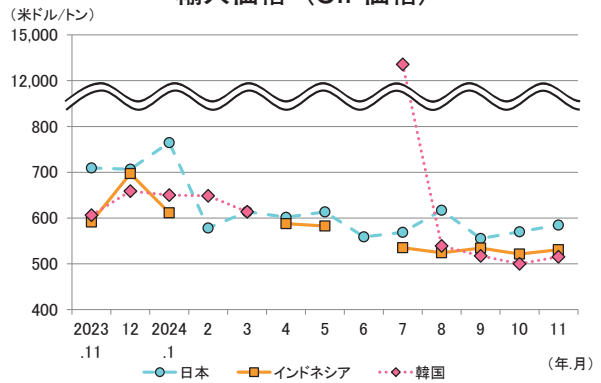
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 主要国の豪州産砂糖（粗糖）の輸入量および輸入価格の推移

輸入量



輸入価格 (CIF価格)



資料：輸入量はGlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, February 2025」、輸入価格は「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）の数値。

注2：直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域とその他の輸入量を表示。

その他は上位3カ国・地域を除いた国・地域の合計。

ただし、GlobalData UK Ltd.の資料に掲載されている国・地域となる。

注3：豪州の輸出に関する月別の統計情報は公表されていないため、主要輸入国の月別の輸入に関する統計情報に基づき作成。

注4：インドネシアの2024年2月、3月、6月の輸入量は実績なし。

注5：韓国の2024年4月、5月、6月の輸入量は実績なし。24年7月の輸入量は、千トン未満。

タイ

2024/25年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：167万ha（前年度比10.0%増）

生産量：9500万トン（同15.6%増）

【砂糖（甘しゃ糖）】

生産量：1132万トン（同21.9%増）

輸出量：837万トン（同42.1%増）

2024/25年度の砂糖輸出量は大幅な増加見込み

2024/25年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、167万ヘクタール（前年度比10.0%増）とかなりの程度増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、収穫面積の増加と良好な気象条件のもと、9500万トン（同15.6%増）とかなり大きな増加が見込まれている。

砂糖生産量は、23/24年度のサトウキビの減産と

CCS^(注)の低下による減産の反動から、1132万トン（同21.9%増）と大幅な増加が見込まれている。砂糖輸出量は、インド産やブラジル産の輸出量減少が見込まれる中、砂糖の増産を背景に837万トン（同42.1%増）と大幅な増加が見込まれている。

(注) 可製糖率：サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

表 タイの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (1月予測)	2024/25 (2月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	1,525	1,514	1,518	1,670	1,670	10.0%
サトウキビ生産量	91,145	93,888	82,167	98,000	95,000	15.6%
砂糖	生産量	10,643	11,682	9,291	11,680	21.9%
	輸入量	148	317	250	300	50.2%
	消費量	3,424	3,348	3,186	3,219	1.0%
	輸出量	7,867	8,002	5,888	8,761	42.1%
	期末在庫量	1,951	2,599	3,066	3,091	3.7%
	期末在庫率	17.3	22.9	33.8	25.8	27.5

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, February 2025」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) タイの砂糖(粗糖・精製糖別)の輸出量および輸出価格の推移

